

特別活動

制服検討委員会の取組

担当 添島秀紀

制服検討委員会 平井梨咲子 陣嘉希 植松栞

【活動の目標】

新しい制服のあり方について全校生徒で考える活動を通して、制服の意義や多様性について生徒一人ひとりが考えることができるようにする。

【こんなことをしました】

- ①ドキュメントを使った企画書および活動記録の作成
- ②スプレッドシートを使った To Do リストの作成およびカレンダーでの予定表作成
- ③Jamboard を使った連絡掲示板
- ④Form を使ったアンケートおよびスプレッドシートを用いた分析活動

【活用の紹介】

- ①ドキュメントを使った企画書および活動記録の作成

ICT を活用した場面	ねらい・効果
<p>B3 思考を深める C3 協働制作</p> <p>学級討議などの特別活動の準備段階において、ドキュメントを使って企画書を作成する。活動後の記録も合わせて残すように。</p> <p>【備考】 当初は企画書が原稿なども兼ねていたが、11 月頃からは企画書でおおまかなゴールを決め、計画を立ててから原稿やスライドを作るようにした。</p>	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動に向けたゴールイメージを明確に共有するため ・活動を記録し、次の活動に繋げやすくするため <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員で見通しを持って、計画を練ることができるのでミスが少なくなった。担当教員との共有もしやすい。 ・行った活動を振り返りやすくなったので、次の活動で行う内容を絞ることができた。 ・企画書⇒スライド⇒発表原稿の順に作成をすることで活動の「ねらい」や「目的」にあった発表資料を作ることができるようになった。

【資料】企画書・活動記録

当初は企画書内で原稿まで作成。ゴールを明確にすることで資料も作りやすくなった。



②スプレッドシートを使った To Do リストの作成およびカレンダーでの予定表作成

ICT を活用した場面	ねらい・効果
<p>C2 協働での意見整理 C3 協働制作</p> <p>スプレッドシートのテンプレートにある「To Do リスト」を使い、タスク管理を行った。</p> <p>また、活動に向けてのカレンダーを作成し、予定を共有することで、ゴールに向けて、いつ何をすればよいかを明確にした。</p>	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やらなければならないことやその期限を共有するため ・見える化をし、計画的に作業をすすめるため <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ToDo リストがあることで、その時やるべきことに集中して取り組むことができるようになった。 ・ゴールに向けていつまでに何をしないといけないかが明確になり、作業効率がよくなった。

【資料】ToDo リストとカレンダー

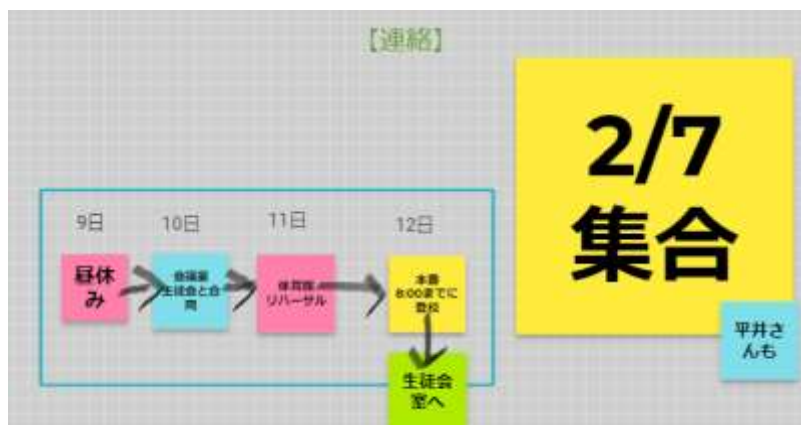
日付	タスク	担当	状態	備考
11月19日	学校説明会前までの活動計画作成	@name		
11月20日	学校説明会	保護者	予定	
11月21日	説明リハーサル	保護者	予定	
11月22日	スライド内容確認	保護者	予定	
11月23日	説明会準備			
11月24日	生徒会のスライド確認			
11月25日	スライド修正			
11月26日	スライド確認			
11月27日	説明会準備			
11月28日	説明会準備			
11月29日	説明会準備			
11月30日	説明会準備			

日	月	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

③Jamboard を使って、連絡掲示板

ICT を活用した場面	ねらい・効果
<p>C2 協働での意見整理</p> <p>連絡事項などを Jamboard の付箋を使って知らせる</p>	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡忘れや連絡の行き違いをなくするため <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スプレッドシートと比べ気軽に使い、急な日程の変更にも対応しやすい。 ・口頭で伝えるより正確性があり、用事を忘れることが減った。

【資料】Jamboard を使った掲示板



④Form を使ったアンケートおよびスプレッドシートを用いた分析活動

ICT を活用した場面	ねらい・効果
<p>B2 調査活動</p> <p>Form を使ってアンケートを実施した。 アンケート結果をスプレッドシートに変換し、グラフなどを用いて分析した。</p> <p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問内容や分析の仕方次第でアンケートの内容以上のものが得られる。 ・状況によっては生徒が結果を見る前に教師がチェックするなどデータの取り扱いを慎重にする 	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒から率直な意見を出してもらうため ・グラフ化など簡単にできるので速やかに分析するため <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果を一覧表示することで様々な立場からの意見が見やすくなり、いろいろな意見を取り入れやすくなる ・フォームが自動的にグラフ化してくれるため、別のアンケート結果と比較が容易にできる。

【資料】 アンケートの結果と分析内容



学級討議後アンケート 分析

アンケート実施内容
主に学級討議による考えの変化を見ることを目的として調査
学級討議後の7月13～15日に実施
回答者 337人

前回のアンケートとの比較

項目	6月 (回答 388人)	7月 (回答 337人)	
検討に対する考え 青 賛成 赤 反対 黄 どちらでもない			賛成の人が 64.2%→61.1% 大幅に増えた
セラーパンツスタイル を着用したいか 青 着たい 赤 着てもいい 黄 であれば着たくない 緑 着たくない			ほとんど変わらない 肯定側の割合が 36.6%→32.4% 少し減った セラーパンツスタイル を着たい人が少ない
その他			全体的に記述の量が 増え、雑な回答が 減ったが、また意見 の差がみられた

【ICT 機器を活用する良さ】

- データの取り扱いが紙より遥かに楽になった。
- 活動するイメージを共有しやすい、一般化がしやすい。
- 今までできなかったこと(頻繁に全校生徒を対象にアンケートをとるなど)ができるようになった。
- 共有したファイルを同時進行で編集できるので効率がよい

【問題点】

- 学力や健康にどう影響するかがわからないこと。
- 家庭で行う場合、個人の負担が大きくなる場合がある。
- ICT 機器を使いこなせる人とあまり得意ではない人との差
→生徒会活動などに対して「ICT 機器を使いこなせないと入れない」などのイメージができてしまっは本末転倒になってしまう。

【まとめ】

○生徒会(特別活動)に ICT 機器を用いるのはデータを共有できるなど効率面でのメリットがある。しかし企画書などを作成し、やることを明確にししないと、誰が何をいつまでにしないといけないかが分からなくなり、人任せになってしまう可能性がある。

資料作りにおいては、対象者を意識して特別活動は全校生徒で行うという当事者意識を持たせるように心がける必要がある。その中で見やすさやフォントなどユニバーサルデザインを意識して作るようにする。